

岡山地域勉強会 2015年度 第1回会合 (議事録)

1. 会合概要

- (1) 開催日時：平成27年6月19日(金)09:45～11:45
- (2) 開催場所：テクノサポート岡山（岡山県岡山市北区芳賀）
- (3) 今回の議長役：細坪理事・事務局長
- (4) 議事録作成者：福原
- (5) 出席者：(順不同、敬称略)
 細坪（危機管理対策機構）、下山（アル経営研究所）、中嶋（コンレブ）、
 平井（岡山県）、福原（岡山産業振興財団）、古江（天野産業）、松本（横山製網）、
 真鍋（ノテープ工業）

(6) 議事内容

- ①出席者自己紹介
- ②平成27年度事業計画
- ③ビジネス継続演習（ワークショップ）

(7) 配布資料

- ①次第
- ②平成27年度事業計画

2 議事の内容

(1) 平成27年度岡山地域勉強会事業計画

次の計画を基に今年度の勉強会を実施していくこととした。

※日程変更の可能性あり	岡山地域勉強会(案)	
月 日	時 間	内 容
6月19日(金)	09:45～11:45	・年度事業計画の検討 ・ビジネス継続演習
7月22日(水)	09:45～11:45	・企業研修(会員企業)
8月20日(木)	午後で調整中	・香川大学危機管理研究センター（災害状況再現・対応能力訓練）
9月17日(木)	13:00～15:00	・企業研修(会員企業)
10月24日(土)	午前で調整中	・自主防災組織【Community Emergency Response Team (CERT)】訓練

**学校防災コースをアレンジ
災害時の対応の視点を養う**



自主防災組織(CERT)訓練



項 目	内 容
初期対応	地震の揺れを感じた場合や緊急地震速報時に児童生徒の安全確保・避難誘導を行う訓練
二次対応	地震の揺れが収まった後、次に発生する災害から避難するための訓練

大災害発生時に市民と企業・団体等によって近隣の人々を安全に助ける訓練

- ①搬送者の優先順位を付ける救護訓練
- ②意識が無い傷病者の搬送訓練
- ③「てこ」の原理を活用した救出訓練

(2) ビジネス継続演習

- ①従来はBCPに書かれたとおりの行動ができるように訓練（ドリル）を実施することが重視されてきた。しかしながら、実際はBCPに書かれたこと以外の事象が発生することから想定外の事象に対してもシミュレーションを通じて挑戦しておかなければならない。即ち、訓練（ドリル）は想定内の事象対応であり、演習（エクササイズ）を通じて想定外の事象のことも検討しておく必要がある。
- ②本日の演習は、災害により自社設備の損壊、ライフラインの供給停止、従業員に死傷者が発生したことにより事業が中断するという切り口ではなく、事業は中断しないが経営環境の変化により売上げが下がったときの事業継続力の向上についてワークショップを行う。【例：主要取引先からのコストダウン要求、同業他社も自社とは異なる製品、サービスの提供による仕事の減少、あるいは取引停止による売上の減少】

【達成目標】

- 経営環境が悪くなっていく中であって、企業は事業継続戦略がないと事業継続力の向上を図っていくことができないことへの気付き
- 経営戦略としてBCMIに取組んでいかないと、企業は事業継続力の向上を図っていくことが難しいことへの気付き

【ワークショップの内容】

- 経営環境の変化により売上げが下がった際の対処方法の選択肢の洗い出し
- 洗い出した対処方法の分類/整理
 - ・主要取引先の仕事を取り返すための方策
 - ・下がった売上で何とか組織を維持するための方策
 - ・下がった売上分を取り返す利益を確保するための方策
- 対処案に対するアセスメント評価
 - ・売上削減率の急激な変化パターン（災害、主要取引先の海外進出等）、穏やかな変化パターン（経済の右肩下がり等）における選択肢の検討

勉強会の様子



勉強会の様子

